

広報

あいそめ

AISOME

第1号

平成 21年 1月



自主

自分のものとして考える

自立

自分の力で育てる

共働

一緒になって働く

共助

お互いに助け合う



社団法人

西都市シルバー人材センター

〒 881-0033 宮崎県西都市大字妻 1621 番地 (あいそめ館内)
電話 (0983) 43-0171 FAX (0983) 43-5801

新年のごあいさつ



理事長
丸山 美木生

会員の皆様方にはお健やかに初春をお迎えのことと心よりお喜びを申し上げます。昨年は世界の金融危機から始まって、わが国も景気後退の波動を止めることは出来ず厳しい社会情勢が加速してまいりました。

そのような状況下で当センターにおきましても、新年度は事業量が減少の方向へ進行するのではないかと、懸念しているところです。

しかし、このような時こそ役職員はもちろん会員の皆様と共に一丸となつて、就業開拓、更に円滑な運営に全力投球をしなくてはならないと心新たにしてい

るところです。どうか本年が少しでも心穏やかな年でありますよう願っているところです。年頭にあたり皆様方の御多幸を心よりお祈りしてご挨拶と致します。



謹賀新年

臨時職員	業務部次長	総務部次長	事務局次長	監事	監事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	常務理事	副理事長	理事長	
杉尾美紀	井上孝明	中武伸子	深美正次	米良嘉文	池澤健二	橋口邦子	海老原直実	安藤次男	清野由行	日高敦	甲斐栄次	清水英一	深美正次	中園洋子	丸山美木生



市長あいさつ



西都市長
橋田 和実

明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

西都市は昨年、五十年目を迎えました。五十年という時を越え発展し続けてこられましたのも、ひとえに長年西都を愛し、支えて下さった皆様の豊かな経験にもとづくお力添えがあったからこそと、あらためて深く感謝と敬意を表す次第であります。

さて、我が国の社会経済情勢は、希にない景気低迷が続いていますが、地方においても依然として厳しい状況にあります。この

ことは、地方の雇用促進にも大きく影響しており、高齢者を取り巻く雇用就業環境をより厳しいものにしております。

しかしながら、不景気や少子高齢化を伴う人口減少社会が進む中で、活力ある経済社会を維持していくためには、高齢者が社会の支えとして活躍していくことがますます重要であり、また、皆様のお力を一層お借りしながら、「元気な日本のふるさと“西都”」を目指し、活気あふれる新しい西都を造っていただけるよう努力していかなければならないと思うのであります。

どうぞ、会員の皆様方におか



れましては、西都市シルバー人材センターの隆盛のために、ひいては西都市の進展のために一致協力してご尽力いただきますよう心からお願い申し上げます。

最後に、会員皆様のますますのご健勝と御活躍を祈念申し上げます。新年のごあいさつと致します。

新春

安全委員長

甲斐 栄次

二〇〇九年、明けましておめでとうございます。シルバー事業の益々の発展と会員の皆様のご健勝をお祈り申し上げます。今年も安全委員対策員、推進員、事務局一同よろしく申し上げます。

今年も無事故「0」を目指して参ります。会員の皆様、安全就業をよろしく申し上げます。



一年を振りかえって

健康談話

会員 池野 忠 利

私の健康の源は、シルバーセンターでの作業と、仲間とのお喋り、そして焼酎(晩酌)かな。冬は寒くて作業が辛い時もある。しかし、家に帰って飲む晩酌が楽しみである。明日の元気源です。

夏は酷暑の中での作業、水分を取りながらの作業である。しかし、家に帰って飲む缶ビールの旨い事この上なし。(そして晩酌もする。)

私は秋が一番好きです。真紅な紅葉、黄色い銀杏、楓など、



そんな中での作業、最高ですね。そして、家での晩酌良いですね。これからも、体に気をつけてシルバーで働きたいですね。早寝、早起き、晩酌、これが私の健康の秘訣ですね。そして、晩酌。

思うことあれこれ

会員 中園 洋子

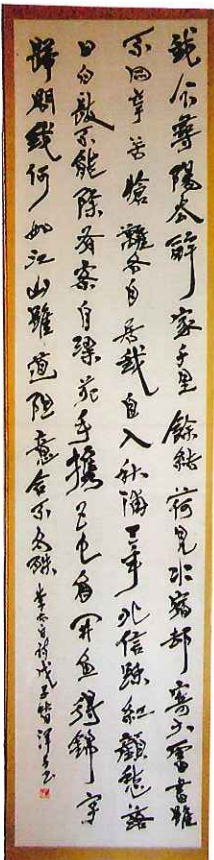
あれもしなければ、これもしなければと思うだけで実践が伴わないまま時が過ぎ、気がつけば一ケ年の終りが来てしまった。最近は何となく早く来ているのに何とも言い難い心境である。

この年代になると寄りあつて話すことはいつの間にか老後のこと、病気のこと、果ては死んで行く先のことまで心配して、その上、誰がどのようにこの身を守り、支え、見届けてくれるのだろうかと不安すら漏らす。

しかし、先のことをあれこれ考えても仕方がない。今、元氣

で生きているし、夢もある。日本中のおいしい物も腹一杯食べたい。あの世ではなく行きたいところも多くある。

さて、昨年は趣味にしている書道の宮日美術展に初挑戦して選外で落ちたものの結果的には良かったこともあった。諸展覧会の作品が受賞の陽の光りを見た。このことが大きな収穫であった。来年は臆せず各美術展へ積極的に参加していきたい。何をすることも体力、気力、やる気が必要である。前向きに努力するのみである。



書道 公募展特選

1泊2日 ふれあい旅行 大分県

11月25日
~26日

親睦旅行の思い出

会員 安藤次男



日本一久重“夢”大吊橋



宇佐神宮(二礼二拍二礼)

豊後高田の昭和の町とは、総延長五五〇m程の通りで、歩けば十五分位で、その通り沿いに点々と立ち並ぶ昭和の店一軒一軒を訪ね昭和の思い出を探して昭和の建物に足を止め、一店一宝に目をとめ、一店一品を手に取り、そして笑顔で昭和の商人に心をとめ、いつの間にか優し

く懐かしい昭和の時間が流れ過ぎる所で私も早速、昭和のロマン蔵に入り、先ず目に付いたのが乗り物で、BSの自転車兼バイクでクラッチの代わりに自転車のリムを擦って走る車です。又駄菓子屋館では、ガラスの容器に入った数多くのキャラメル、そして、昭和の絵本では連

載マンガ、例えば冒険王と砂漠の魔王等でした。

平日にも係らず大変多くて、足を止める事無く見物し、その後、館の中庭に出ましたが、何とそこには、昭和初期頃の乗り物が数多く並べられ、小型の物では、ダイハツミゼット、ダイハツの角ハンドルの三輪車、そして、円ハンドルの大型三輪車があり、少し私も足を止め小学校に入る当時の事を思い出した。昔、農協には精米所があり農家からの依頼で小型の三輪車で粉を運んでいた。三・四俵程積んで自分とこの前の道路を通る

時にその三輪車の後ろに友達とぶら下がると三輪車の前が浮き上がった、「運転が出来ないが」と叱られた記憶があります。

又昭和の民家ゾーンでは家の暮らした様子が六十年前に戻って再現され、特に目についたのが中庭に二本の柿の木があり、木の股と股との間に竹竿を通し洗濯物が干され洗濯機は手回しの脱水機の付いた物で、茶の間は囲炉造りで再現されていきました。大変短い時間ではありましたが良い体感となりました。

川柳

- ▼ 子も孫も歩きながらのメール打ち
- ▼ 一夜明け昨夜が去年に早代わり
- ▼ 火の炎何を思うか女狭穂塚

会員 島田喜一
会員 金丸長利

事務局からのお知らせ

家族承諾及び誓約書

記

- ① センターには就業保障や収入保障の要求をしません。
- ② 会員は就業先及びセンターとも雇用関係はないので、労働者災害補償保険、並びに各種社会保険の要求をしません。また、家族にも承諾させます。
- ③ センター提供の仕事は自ら請負、委任で仕事を引き受けます。
- ④ 個人で開拓した仕事もセンターを通じて就業します。
- ⑤ 就業の際は安全第一に心がけ、会員就業規約並びに安全就業基準を遵守します。
- ⑥ 就業の際は、自らの責任を持って就業し、就業先及び貴センターにご迷惑をかけません。
- ⑦ センター事業に係わる車の便乗の場合、万一事故が発生しても当該車が加入している保険の給付額以外は、一切請求致しません。
- ⑧ センター所有の全ての車両・機材等については、自らの責任によって使用し、使用前後の安全点検を行い適正に使用します。万一事故(本人の責任によって起因する場合)が発生しても貴センターにご迷惑をかけません。

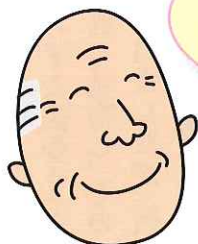
あんたみんな、
知っちゃっや!!



四項目は特に
大事じゃな。

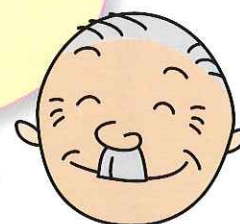


入会する時に
説明があっやがな!!



初心にかえって

まこっちやな。
何んでん忘れっしもうて
いかんがな。
時々、これを見
らんといかんがな。



安全対策員の方々

新対策員 5名(男性3名・女性2名)

阿万宗冬会員 横山節子会員

原田耕廣会員 関 千穂会員

斎藤 昭会員

任期 平成20年12月19日から平成22年5月30日まで

※井上業務部次長は安全就業推進員。

会員のひろば

健康第一

会員 原田 律子

私は、自分では健康だと思っています。でも本当に健康かと言われると分かりません。一人だから、他人に迷惑かけずにいようと、考えて頑張ろうという思いが、病気になるのを防いでいるのだと思います。そして、仕事をさせてもらって動いているので元気にしていられると思っています。

私は、貧乏が丈夫にしていると思っています。余裕があるとゆつくりしようと体を動かさなくなり、体が生つてくると思っています。はずみをつけて体力に合わせて、疲れたら体を休めて、ストレスを溜めずにいけたら健康につながると思います。無理せずあせら



ず年齢も年を重ねてきたのだから、自分流に合わせたい。病には勝てませんが、怪我をしないように常に前向きに生きていけたら、頑張ろう精神が健康につながるのではと思います。体のストレッチを忘れずに。

心身の尊さ

会員 松浦 峰 廣

人間にとって、何が大切な財産かと言えば、それは健康であろう。いくら、お金、財産、地位、名誉があっても、病気であれば淋しいものだ。何はなくとも健康であれば、後は何とかなる。一般に健康と言えば、体の健康の事だけを思っている人が多い。たとえば、自身は、どこにも病気は無く、健康体だと思っている人に、「あなたは顔色が悪い、どこか具合が悪いのではありませんか？」と会うたびに言われたら、その人は健康であるという自信を失くして、本当に肉体を病んでしまうかもしれない。

又、ある名医の所へ患者が訪れた時、名医が患者に

言った、「あなたは胃が悪いだけで、何故いつもしかめっ面をしている、顔は病んでいないのでニコニコしていなさい。」患者はハッと気付かされ、それから笑って暮らすようになった。するといつの間にか、胃が治ったと言う。これはいずれも、肉体の健康を心が左右すると言う事です。



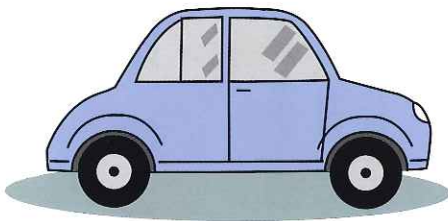
自主自立、共働共助について

会員 日 高 敦

共に交流し合って、高齢者が、健康で働く意欲を持つて、長い人生で身に付いた技能や経験、生活の知恵を活かし、地域にそれを定着させ、自分の組織を守り最も適する仕事づくりを相談し開発し、西都シルバーセンターを宮崎県一のセンターとして運営して頂く事を切に希望しますと共に、笑いのある共働共助の精神で頑張つて戴く事を節に願っています。

一番怖いのが交通事故、飲酒運転、シートベルト等を忘れず、怪我せず、はしごで落下しないこと。私も一度、落下した事がありますが大変です。センターに迷惑をかけるとなると大変で

す。くれぐれも怪我しないよう、自主自立、共働共助、これを忘れず、懸命に助けあつてセンターの向上を計り、皆様と共に笑いのあるセンターを守つて戴く事を祈つております。
家族を大切にして、頑張つてください。



民話

樽蛇の話

会員 堤 浩 康

以前、広島県の山村で働く人々に伝えられている民話を聞いたことがあります。その一部を紹介します。

それは、錐蛙きりかま、箆ざるどじょう、樽蛇たるへびという三つの話です。

「錐蛙」というのは、跳びはねる蛙も、頭の上にちよつと錐をあてられると動きがとれなくなるというのだ。

「箆どじょう」は、箆の中にとじょうを入れておくと、いつの間にか、一番上のところに一番大きくて強いのが横たわつて、下になるほど小さくて弱いのがうずくまつている。

「樽蛇」というのは、上に一つの穴があいた樽に蛇をいれるとすぐ這い出るのだけど、たくさん入れておくと出て

くる心配がないという。つまり、先ず一番強いのが日の光りのさす穴に近付いてくると、他の蛇が寄つてたかつて巻き付き、締めつけ、結局落としてしまう。こんなことを繰り返しているの、せつかく穴があるのに、一匹の蛇も出られないというのだ。

私はこの話を聞いて、何か人間社会の醜さを表しているように思えます。皆さんはこの話から何を感じ、どう思われますか。



パトロールに廻つての一言

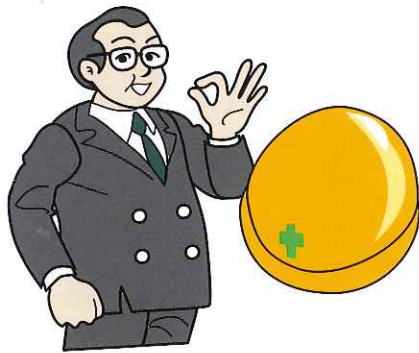
会員 後藤 ツネ

朝夕は、めっきり寒くなつて参りました。今年度も残り少なくなつて来ました。本当に月日の過ぎるのは早いものです。安全大会の催しの便りの所で安全帽着用について載つており、着用率が九八%となつたと記されておりました。一人一人が安全に対しての心を持たれた事と思ひました。パトロールに廻つて、仕事での安全と和を持つての安全就業がなされている事が最近目にとまるように見受けられる今日この頃です。

安全第一、そして、保護帽、ヘルメットを着用とした決まりを守り、安全就業を軸にして西都市シルバーの会員が、一丸となつて就業に頑張らしましょう。

会員の皆さん方と話が出来、廻ることによって私達の気持ちを通じたと思ひ、心から感謝しております。

これから先も健康第一、



民芸
俳句

▼窓をあけ露したガラス指なでる

会員 木下久美子

▼安全対策は、人に任せぬ自分の知恵

会員 甲斐 栄次

▼春を呼ぶしだれ柳や風涼し

▼新年の明日を占う除夜の鐘

会員 島田 喜一

民芸
短歌

▼愛し子やもみじみしたいな手差しのでて乳房まさぐる此の子の可愛い

▼一ツ瀬の川の岸边に目をやれば尾びれを見せて泳ぐ小魚

会員 島田 喜一

▼冬枯れし古墳人の夢枕車人もなし虫の声

会員 金丸 長利

▼青々といっぱいあつたイチヨウの葉今はすつきり冬景色かな

▼いつまでも元気に栄え続ける西都市シルバー人材センター

会員 緒方 正雄

▼年の瀬に又取るとぼやく友袖通す服ハデと思う

▼病得て主夫となりてポヤク夫朝から今夜鍋と言う

会員 木下久美子

パンフラー



会員 原田律子

編集後記

後記対談

広報委員

中園洋子

橋口邦子

中園

明けましておめでとうございます。初七日は穏やかな日が続きよい年になりそうですね。

橋口

おめでとうございます。会員の皆さんもよい正月を迎えられたことと思います。

中園

今年の心配ごとは何と言っても世界的な経済不況でしょうか。

橋口

信じられない不景気に陥って驚きです。シルバーセンターの仕事も少なくなるのではと心配しています。

中園

予測通り厳しくなるでしょうね。シルバーセンターの基本理念である「自主・自立」の

精神で仕事を確保できるような努力することや「共働・共助」の精神で互いに助け合っ

て働くことが今までより大切になってきそうですね。

橋口

ところで、広報の原稿が沢山集まりましたね。関心が高いんですね。

中園

趣味、健康、仕事に対する想いなど沢山あって、やりがいがあります。

橋口

広報名は「あいそめ」「ぎんなん」「古墳」「未来」「会員の絆」「会員の広場」があがって

いましたが一月の理事会で「あいそめ」に決まりました。よかったですでしょうか。

中園

西都市の歴史を代表するネーミングでとてもいいと思います。

橋口

「あいそめ」を長く愛してほしいです。

中園

私達、広報委員は会員さんのいろいろな想いを広く取材して明るく・楽しく連帯して

景気よくいきたいですね。

橋口

発注者は神様です。こんな世だからこそ親切、ていねいに対応して、シルバー人材の魅

力を発揮したいものです。

中園

「技術」も大事ですが「真心」が伴ってこそ一層喜ばれるでしょう。では、今年も「健康

第一」そして「安全」に気をつけて頑張りましょう。